

1 これまで3年間（H20～22年度）の取組について

1 児童・生徒の状況

(1) 学習事項の定着（学力）について

- ・ 2010年度全国学力・学習状況調査の結果は、国語、算数とも平均正答率は全国平均を上回っており、全体的には概ね良好な結果を示している。しかし、高い得点をとれる児童と学力面で厳しい実態を抱える児童との格差が大きいことが明らかになっている。
- ・ 国語 A 問題（知識）では、15 問中 6 問（4 割）以下の正答数の児童の割合が 5.4%に対して、B 問題（活用）では、10 問中 4 問以下の正答数の児童は 11.4%と倍以上になっている。特に、A 問題では正答数が 0 問～2 問の児童がいないのに対して、B 問題では、正答数が 0 問の児童が 3%となっている。B 問題は、かなり難しい内容だったが、特に読解力や作文力を育てるための取り組みの充実が求められている。また、基礎的な知識のより一層の定着を図るため、漢字の反復練習や読書活動の充実に力を入れて取り組む必要がある。
- ・ 算数 A 問題では、7.4%の児童が 19 問中 8 問以下の正答数（4 割以下）となっている。正答数が 15 問以上の児童は全国・府平均より多いが、7 問から 14 問の児童数は全国・府平均より低い結果となっており、全国や府との比較においては学力の 2 極化の傾向が見られる。B 問題では 12 問中 5 問以下の正答数の割合は 34.1%と、かなり高いポイントとなっている。

(2) 「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「学び力」の育成について

【2010 年度全国学力・学習状況調査から】

【ゆめ力】・・・「将来の夢や目標を持っているか」の質問に、[とてもあてはまる]と答えた児童は全国や府平均より多いが、[あてはまらない]と答えた児童も全国や府平均より数ポイント高いという結果が出ている。また、「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか」の質問では、[あてはまる]、[どちらかといえばあてはまる]とも全国・府平均より低く、逆に [あまりあてはまらない] [あてはまらない] が、いずれの平均よりも高い割合となっている。さらに、「学習したことが将来、社会に出たときに役立つか」という質問には、国語・算数ともそのように思っていない児童の割合が高くなっている。これらの結果から、「将来に展望を持ち、努力できる力」（ゆめ力）をいかに育てていくか、自己肯定感や自尊感情が低い児童に対する取り組みが本校の重要な課題と言える。

【自分力】・・・朝食の摂取や起床時刻は、全国平均と同じような結果となっており、それとの比較においては概ね規則正しい生活を送っているといえる。保護者に対して基本的な生活習慣の大切さを訴え、家庭の協力を得るよう努めてきたことが一定の成果を生んでいると考えられる。しかし、一方、朝食をとらないで登校し、学習に集中できない児童や保護者の働きかけが極端に弱いケースなど、放任やネグレクトが心配されるケースもあり、地域も含めた連携、支援がより一層重要となっている。

「学校のきまりを守っている」「どんな理由があってもいじめはいけないこと」の質問でも、いずれも全国平均と同じような結果となっている。これらは、日頃から全教職員が一致して、きまりを守ることや友だちを大切にすることを粘り強く指導してきた成果と言える。しかし、感情のコントロールが難しい児童もいてトラブルになるケースも後を絶たない。集団づくりのとりくみを大切にしていきたい。

【つながり力】・・・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」や「人が困っているときは、進んで助けていますか」との質問に対して、そう思うと答えた児童の割合が全国平均を上回っている。教育活動に奉仕的な活動を取り入れ、ていねいに取り組んでいることがこの結果につながっていると見える。ただ、近所の人への挨拶は全国平均よりかなり低いポイントとなっており、引き続き挨拶ができるよう指導していくことが必要といえる。

[学び力]・・・「学校で友だちに会うのは楽しいと思うか」との質問に、あてはまらないと答えた児童の割合が全国・府平均よりかなり高くなっている。また、「好きな授業があるか」との質問に、あてはまらないと答えた児童の割合も全国平均より高くなっている。「授業の内容がよく分かるか」の質問では、国語では、あてはまると答えた児童の割合は全国平均より高く、あてはまらないは全国平均と変わらないのに対して、算数では、あてはまらぬと答えた児童の割合が高くなっている。

大多数の児童は、学校が楽しい、授業はよくわかると思っているが、中には、そう感じていない児童がいることも事実であり、一人ひとりの児童の様子をしっかりと見ていくことが大切である。そして気になることがあれば、早い段階で手立てを考え対応していかなければならない。

2 学校の取組

(成果)

- ・ 校内研究体制の充実を図り、研究授業等に積極的に取り組んだことにより、授業内容の改善を図ることができた。
- ・ 支援担当による課題のある児童への個別支援、少人数指導担当による少人数学習指導、専門支援員、支援サポーターによる学習支援などによって、児童の実態に応じたきめ細かな指導や支援を行うことができた。
- ・ 計算プリントによる反復練習や朝の読書活動など、全学年共通して取り組んだことにより、基礎的な学力の定着を図ることができた。

(課題)

- ・ 各研究部会が担当するとりくみを調整し、校内研や授業研を有機的に結合させる。
- ・ 設定した重点目標に基づいた研究授業や校内研の取り組み。研修・研究したことを、日常の教育実践に活かす。
- ・ 児童がかかえる課題を全教職員が認識し、目的意識を共有しつつ、それぞれの立場で課題解決に向けた取り組みを進めることが必要。
- ・ それぞれの持ち味を活かしつつ、集団での指導体制を構築する。そのために、教職員間の連携をより一層密接にする。

2 これから3年間（H23～25年度）の取組について

1 3年間の重点課題

	重点課題	検証軸	25年度の到達目標
①	「話す」「聞く」「読む」「書く」、それぞれの力を高め、コミュニケーション能力を育成する	研究授業を行い、成果と課題を検証する。	日常の授業の中で、「話す」「聞く」「読む」「書く」についての取り組みを実践する。 学力に課題のある児童も自分なりの文章表現ができるようになる。
②	授業ルール・生活ルールを守ることができる児童の育成	実態交流会を行い、成果と課題を検証する。	チャイムが鳴った段階で自主的に授業の準備ができ、静かな雰囲気の中で授業を進めることができる。 発言のルールや話し合いのルールを守って授業に取り組むことができる。
③	自分を大切に、他者を大切にできる、豊かな人権感覚をもった児童の育成	児童アンケート調査を行い、成果と課題を検証する。	アンケート調査で、すべての児童が、学校には楽しいことがあると回答するようになる。 すべての児童が、自分のよいところ、得意なことを言うことができる。

2 3年間の取組計画

3年間共通の計画	年度ごとの計画	
<p>【学び力の育成】</p> <p>① (仮称)「春日小学校の基本」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての児童が安心して気持ちよく学習できるよう授業ルールをはじめ、基本的なルールを作成する。 家庭学習や学習準備など家庭の協力を得られるよう保護者によりかける。 <p>② 授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習に課題のある児童も意欲的に取り組めるよう、教材研究の充実を図り「分かる授業」づくりを進める。 ICT機器の効果的な活用を進める。 初任者の研究授業を含め、積極的に公開授業にとりくみ、全教員参加による研究会を実施する。 公開学年だけでなく、全学年の実践を交流する。 <p>③ 読書活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校一斉読書(毎週水曜日8時30分～40分)を継続する。 図書館教育の充実。 図書ボランティアによる読み聞かせ。 お話会の活用。 <p>④ 学力の定着を図る取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算練習や漢字練習など、反復練習の時間を設定する。 日記や作文など「書く」ことを習慣化する。 音読や群読、暗誦など「読み」を大切にする。 スピーチや発表学習など「話す」ことの指導。 <p>⑤ 体力向上の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 茨木っ子運動を活用し、体を動かす楽しさを知る。 <p>⑥ 課題がある児童へのきめ細かな支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童支援担当による個別指導。 習熟度別学習の推進。 専門支援員、支援サポーターによる学習支援。 <p>⑦ 学生ボランティアの効果的な活用</p>	平成 23 年度	<p>◇(仮称)「春日小の基本」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究部会、指導部会、学年部会で内容の検討を行う。 それぞれから出された案を企画調整部会で調整しまとめる。 <p>◇児童アンケート調査の実施</p> <p>◇授業研の実施(2年・5年)</p>
<p>【自分力の育成】</p> <p>⑧ 「春日小のきまり」の指導の徹底</p> <p>⑨ 暴力から身を守るワーク(3・4年) 非行防止教育(5年) 喫煙防止教育(6年)等の取り組み</p> <p>⑩ 食育の推進、健康教育(保健だよりの活用)</p> <p>⑪ 体験的活動の実施</p> <p>⑫ 手作りコンサート(4年～6年)の取り組み</p> <p>【つながり力の育成】</p> <p>⑬ きょうだい学級の交流や支援学級との交流</p> <p>⑭ 集団遊びや体験活動の取り組み</p> <p>⑮ 学校行事、児童会活動の取り組み</p> <p>⑯ 児童会主催・春日小まつりの実施</p> <p>⑰ 公民館、青健協、福祉委員との連携</p> <p>【ゆめ力の育成】</p> <p>⑱ 自己肯定感、自尊感情を高める指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価や賞賛によって自信が持てるよう指導する。 スモールステップを設定し達成感が味わえるよう指導する。 <p>⑲ 一人ひとりの良い点、得意なことを伸ばす指導</p>	平成 24 年度	<p>◇「春日小の基本」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校で取り組む。 <p>◇児童アンケート調査の実施</p> <p>◇授業研の実施</p>
<p>【自分力の育成】</p> <p>⑧ 「春日小のきまり」の指導の徹底</p> <p>⑨ 暴力から身を守るワーク(3・4年) 非行防止教育(5年) 喫煙防止教育(6年)等の取り組み</p> <p>⑩ 食育の推進、健康教育(保健だよりの活用)</p> <p>⑪ 体験的活動の実施</p> <p>⑫ 手作りコンサート(4年～6年)の取り組み</p> <p>【つながり力の育成】</p> <p>⑬ きょうだい学級の交流や支援学級との交流</p> <p>⑭ 集団遊びや体験活動の取り組み</p> <p>⑮ 学校行事、児童会活動の取り組み</p> <p>⑯ 児童会主催・春日小まつりの実施</p> <p>⑰ 公民館、青健協、福祉委員との連携</p> <p>【ゆめ力の育成】</p> <p>⑱ 自己肯定感、自尊感情を高める指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 肯定的な評価や賞賛によって自信が持てるよう指導する。 スモールステップを設定し達成感が味わえるよう指導する。 <p>⑲ 一人ひとりの良い点、得意なことを伸ばす指導</p>	平成 25 年度	<p>◇「春日小の基本」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に照らして内容が適切かどうか検証する。 <p>◇児童アンケート調査の実施</p> <p>◇3カ年計画の検証</p>

3 推進体制

